

エルシーブイ FM 第 13 回放送番組審議会

1. 日時 2009年3月26日(木) 13時30分から14時30分

2. 場所 諏訪市四賀 エルシーブイ株式会社 本社会議室

3. 出席者 委員定数 7名

出席委員 5名

宮坂 徹	委員長
佐久 秀幸	委員
奥原 正夫	委員
伊藤 孝	委員
宮坂 ちとせ	委員

欠席委員 2名

山本 浩司	委員
名取 功夫	委員

放送事業者側 6名

小泉 正夫	常務取締役
伊藤 敏昭	編成制作部長
田中 淳司	編成制作部次長
小池 利幸	編成制作部 FM 制作課長
久慈 大志	編成制作部 FM 制作課
横内 大輔	編成制作部 FM 制作課

4. 議事次第

- ・番組審議会 宮坂徹委員長より開会の挨拶
- ・番組「ヒナタジュンのうたうたい亭」について審議
- ・以前の番組審議会で要望があった、自主制作番組の再放送についての対応の説明
- ・以前の番組審議会で要望があった、番組モニター制度の導入についての対応の説明
- ・番組審議会の概要をHPで公開するにあたっての出席者名の掲載について

5. 議事の概要

【審査番組】

「ヒナタジュンのうたうたい亭」

（毎週土曜日午後 5 時 00 分～6 時 00 分）を取り上げる。
エルシーブイ FM が制作する、毎週土曜夕方の音楽番組。
シンガーソングライターのヒナタジュンが司会を務め、
諏訪地域の音楽情報、イベント情報、アーティスト情報を
中心にお送りする 1 時間。

「ヒナタジュンのうたうたい亭」に関する、主な意見としては

- ・ 音楽アーティストにとって、ラジオ番組に出る事でモチベーションが上がると思う。
- ・ 地元の音楽アーティスト達の発表の場だと思う。
- ・ パーソナリティのヒナタジュンはとても声がよく通っていていいと思う。
- ・ 将来的には今の番組の構成を変えてみるのも面白いと思う。
- ・ ずっと同じ形式でやっている、リスナーから飽きられると思うので、違う形式も必要だと思う。
- ・ 地元の間人が出演して、地元の方が聴く、非常によく出来たコミュニティ番組だと思う。
- ・ 同じパーソナリティがゲストを選んでいると、人脈の関係で、次第に同じゲストが多くなり、バリエーションにも限りが出てくるので、将来的には違うパーソナリティに変更するというのも一つの案だと思う。
- ・ 音楽アーティスト以外にも、地元のライブハウスの経営者の方が出演されていたりして、普段は表に出てこない裏方の人間にも光が当たるという点でもいい番組だと思う。
- ・ 色々な音楽ジャンルの人間が出演しているので、番組の幅が広がる上に、100 回を超える番組だが、マンネリ化を防げていると思う。
- ・ 土曜日の夕方 5 時という多くの人間がラジオを聴いている時間帯で、生演奏などを織り交ぜた実験的な音楽番組を、ずっと続けているのは立派だと思う。

- ・トークを聴いていて、非常に楽しそうなスタジオの雰囲気はこちらにも伝わってくるいい番組だと思う。
- ・楽器の生演奏をラジオで聴けるという機会が非常に少なく、他の放送局でもそういう試みをしている局は多くないので、非常にいい意味で個性が出ている番組だと思う。

との意見を頂きました。

【その他】

- ・審議委員からの意見をふまえ、「ひびけ！みんなの歌声」「山ちゃんのはらぺこ王国」「こちら消防団情報局」「諏訪であいましょう」について再放送を入れた編成とした旨、報告をしました。
- ・以前の番組審議会では要望があった、番組モニター制度の導入については原案を審議会に提示、審議委員からご意見をいただき局側にて再度検討し、次回以降の番組審議会にて再び案を示す事としました。

以上、各委員から多数のご意見を頂きました。